



成田市場には、農水産物の輸出について豊富な知識と実績をもつ事業者がいて、さまざまなサポートを行っています。ぜひご相談ください。

成田市公設地方卸売市場 場長 河野 雅祐さん

日本初のワンストップ輸出拠点機能を備えた、**新生成田市場!**

〈成田市場の声〉

2022年1月にリニューアルオープンした成田市の公設地方卸売市場。空港に近接し、流通に最適な立地を生かして農水産物の輸出拠点としての役割を果たし、輸出拡大を通じて日本の農水産業の発展に貢献することが期待されています。

成田市場は、施設内の温度や衛生環境を効率的に維持・管理するためのコールドチェーン(低温物流)を確保し、国際的な衛生基準であるHACCP認証の取得を想定した各種加工施設を備えています。また輸出証明書の交付や、検疫、通関、航空コンテナの積み付けといった、輸出に必要な手続きを市場内で完結できる「ワンストップ輸出拠点機能」を備えた、日本で初めての卸売市場です。この機能を活用することで、海外からも人気の高い日本の農水産物を、より早く、より新鮮な状態で輸出することが可能となります。

今後、空港機能がさらに強化され、場内事業者と生産者団体、空港関連企業等が業種の垣根を越えて連携することで、成田市場からの輸出が順調に増加していくことが見込まれています。

住所:成田市天神峰80番地1
電話:0476-37-7018
ホームページ:https://www.city.narita.chiba.jp/business/page0139_00039.html
メールアドレス:ichiba@city.narita.chiba.jp



“千葉のおいしい!”を世界に届けよう
輸出をはじめてみませんか?

千葉県産農林水産物に対する動植物検疫・放射性物質規制の状況 (2024年2月調査時点)

国名 \ 品目	いちご	なし	水産物(鮮魚・冷凍)	玄米	精米	米粉	鶏卵	切り花
中華人民共和国	×	植	特	×	特	—	×	植
	植	停止	停止	植	停止	停止	動	植
台湾	産・放	産・放	産・放	産・放	産・放	産・放	産・放	植
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
香港	放	放	停止(23年8月~)	◎	◎	◎	◎	◎
シンガポール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ベトナム	×	特	特	植	植	植	×	植
	特	特	特	×	植	植	×	植
マレーシア	◎	◎	◎	植	植	植	×	植
マカオ	◎	—	◎	—	◎	—	動	◎
カンボジア	◎	◎	◎	—	◎	—	◎	◎
アメリカ合衆国	植	特	特	◎	◎	◎	◎	◎
	×	特	◎	◎	◎	—	×	◎
EU	植	特	特	◎	◎	◎	◎	◎
	植	特	特	◎	◎	◎	◎	◎
アラブ首長国連邦	植	植	◎	植	植	◎	×	植
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎:検疫条件等はなく輸出が可能 植:植物検疫又は輸入許可が必要な場合 動:動物検疫等が必要な場合 特:特別な検疫等の条件がある場合
○:日本からの輸出実績あり。検疫条件等は要確認 ×:輸出不可 —:輸出実績がなく、検疫条件等が不明
停止:原発事故に伴う規制により輸入停止中。 停止(23年8月~):ALPS処理水の海洋放出に伴う規制により輸入停止中
放:放射性物質検査証明書等が必要 産:産地証明が必要
※規制内容は頻繁に変更されます。また、上記のほかにも、残留農薬規制や衛生証明書等の条件があるため、輸出にあたっては必ず事業パートナーや相談窓口に最新情報の確認をお願いします。



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

県などによる支援メニュー

【農林水産省ホームページ】

Title 農林水産物・食品輸出支援策ガイド
概要 農林水産省及び経済産業省の支援策を紹介



<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/yusyutsugaido.html>

【千葉県ホームページ】

Title これから輸出に取り組む事業者の皆様へ(輸出ガイド)
概要 輸出に取り組む事業者に参考となる情報(各サイトへのリンク)の掲載、県が行う支援策の掲載



<https://www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/export/documents/jyohosite.html>

【(独)日本貿易振興機構(JETRO)】

Title 農林水産物・食品の輸出支援ポータル
概要 海外見本市や商談会の案内、セミナー動画を掲載



<https://www.jetro.go.jp/agriportal/>

発行:千葉県農林水産部販売輸出戦略課

電話:043-223-3086

※本リーフレットに掲載している情報は令和6年3月現在のものです。

千葉県農林水産部販売輸出戦略課





なぜ、今輸出？

世界から求められる日本の農林水産物！ 2030年輸出額5兆円に向けて、国も後押し

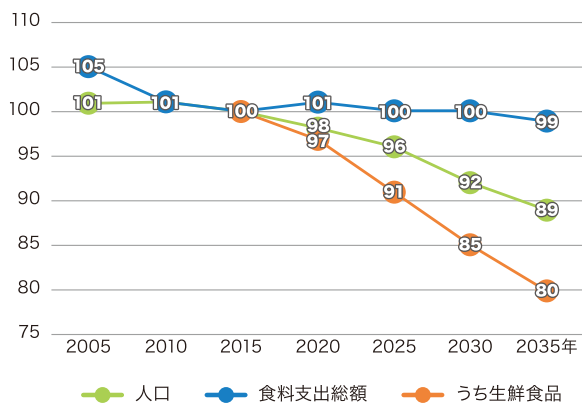
今、農林水産物の輸出に関心が高まっています。その背景にあるのが、国内人口の減少により食料支出が長期的には縮小傾向にあることです。特に、生鮮食品の支出額は大きく減少が見込まれています。

一方で世界の飲食料市場規模は、人口増加や食生活の変化により、今後増加傾向が続きます。さらに、欧米やアジア諸国では「和食」ブームが起きており、日本食レストランの軒数が2015年と比べて約2倍*に増加。日本の食材への注目が世界的に高まってきました。そのような中、国は農林水産物・食品の輸出額を2030年に5兆円まで伸ばすことを目標に掲げ、輸出多角化のための販路開拓支援や、マーケットイン志向の輸出産地育成の取り組みを進めています。

その結果、2023年の農林水産物・食品の輸出実績は1兆4,547億円と過去最高を更新しました。

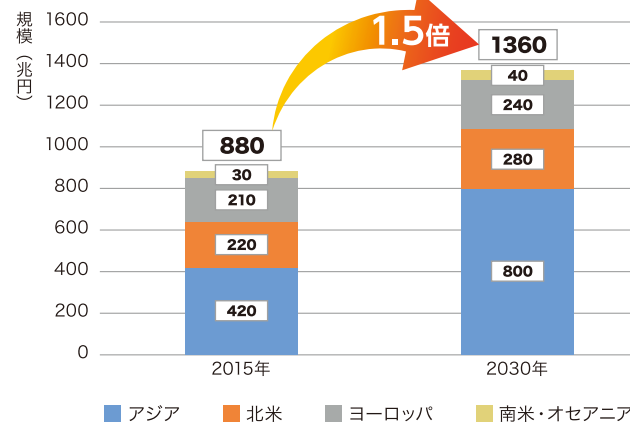
※2015年:約8.9万軒、2023年:約18.7万軒

〔国内の食料支出の推計〕 ※2015年を100とした場合



〈出典〉農林水産政策研究所「我が国の食料消費の将来推計(2019)」

〔世界の飲食料市場規模の推計〕



〈出典〉農林水産政策研究所「世界の飲食料市場規模の推計」



ステップに沿って準備をしっかりと整え、 自信を持って臨める体制を構築しましょう。

STEP
01

輸出に向けた 調査を行い、 計画を立てよう！

○輸出プランを立案

- ・自社の輸出対応力を確認
- ・輸出の目的・輸出国、目標、対象品目

○輸出手法を選択

- ・直接輸出か間接輸出か？
(※下記参照)

STEP
02

輸出に向けた 準備をしよう！

○制度、規制をリサーチ

- ・残留農薬規制
- ・動物・植物検疫や衛生基準
- ・園地登録
- ・使用禁止の原材料・添加物
- ・関税制度 など

○輸出国の消費者、
市場をリサーチ

- ・食文化・嗜好
- ・市場の特徴、価格帯

○取引先を探す

- ・商品のPRポイントを決定
- ・商品紹介ツールを作成
- ・展示会・商談会に参加

○生産体制の整備

- ・ニーズや規制に合わせた生産

STEP
03

輸出を 実践しよう！

○商品手配・出荷準備

- ・関係書類の作成
- 出荷する
- ・温度管理、衝撃回避
- ・輸送費低減の工夫

○販売する

- ・代金回収
- 輸出を継続する
- ・販売促進活動

※直接輸出と間接輸出があり、間接輸出の場合、青字の実務は事業パートナー（輸出事業者）に代行を依頼することが可能です。

直接輸出

メリット

- ・海外の取引先に直接商品を販売
- ・中間マージンが発生しない
- ・現地に希望を直接伝えられる

デメリット

- ・日本語で交渉できない可能性がある
- ・代金回収、為替変動のリスクがある
- ・貿易実務を自身で行う手間が発生

間接輸出

メリット

- ・商社や貿易会社を通じて販売
- ・実質的には国内取引
- ・日本語で交渉できる
- ・代金回収のリスクが低い
- ・貿易実務の代行を依頼できる

デメリット

- ・中間マージンが発生する



いちご

事業パートナーと生産者が、二人三脚で取り組むから安心



私もゼロから輸出を始めました。生産者の方と伴走型で進めますので、興味がある方はぜひご連絡ください。

〈事業パートナー〉
食育ネット株式会社
代表取締役
浅野 美希さん

行政や輸出業者からアドバイスを受けながら、輸出にチャレンジされることをお勧めします。

〈生産者〉
横田ファーム
農場長
横田 文人さん

〈横田ファームさんの声〉

2014年から食育ネットさんとタッグを組み、マレーシアへいちごの輸出を始めました。きっかけは、食育ネットさんがマレーシアで開催された千葉県主催の商談会に参加した際、味、香り、大きさ、甘さなどについて海外バイヤーから高評価を受け、私あてに相談があったことです。

いちごの輸出は、鮮度保持や荷傷みの防止が重要なカギとなります。私達はまず容器や緩衝材などパッケージの工夫に取り組みました。実際に輸出してみると、商品が傷んでしまったこともありましたが、その時は食育ネットさんが責任を持って対応してくれました。また、要望に合わせてオーダーを調整してくれ、とても感謝しています。

現在、いちごの輸出は生産全体の4～5%。輸出先もマレーシアのほか、タイ、香港、シンガポール、ドバイと広がっています。これからも二人三脚で販路を拡大し、輸出に取り組んでいきます。



横田ファーム
千葉県緑区平山町1048
ホームページ: <https://child-niwa.jimdofree.com/>
食育ネット株式会社
千葉県中央区道場北1-9-3-108 電話:043-224-6322
メールアドレス: miki@asano-shokuikunet.com

さつまいも

現地での実演販売が功を奏し、さつまいもの評価が拡大



輸出事業者と連携することで、国内出荷の手間とそれほど変わらずに輸出できます。急な変更にも対応してもらっています。

〈生産者団体〉
かとり農業協同組合
販売部園芸課長
菅井 理彦さん

現地との交渉や貿易実務、トラブル対応などを引き受けています。課題や効率化には生産者と一緒に取り組んでいます。

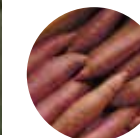
〈販売・購買事業の担い手〉
全国農業協同組合連合会
千葉県本部園芸部園芸直販課調査役
出口 浩太郎さん

〈JAかとりさんの声〉

JAかとり管内はさつまいもの産地として国内で有名ですが、2013年からマレーシアに輸出をはじめました。きっかけは県が主催した商談会や海外フェアに参加したことです。新たな販売先の確保と国内相場の安定、そして産地を広く知ってもらうことを目的に取り組みました。全国農業協同組合連合会千葉県本部の協力のもと、現地の店舗で焼き芋の実演販売を行って新しい食べ方を提案。美味しさに驚いてその場で購入してくれる方が大勢いました。そのような販促活動が功を奏し、現地での評価が少しずつ高まっていきました。実は、さつまいもの国内流通はL級が主体だったのですが、輸出用は細物(M、S級)が好まれるため、国内で伸び悩んでいた細物の販売促進につながりました。

現在の県内JAからの輸出品はさつまいものほか、やまといも、梨など。輸出国もマレーシアのほか、タイ、シンガポール、香港、台湾などに拡大しています。

今後は新たな品目の提案、新たな国への輸出拡大に取り組んでいきます。



かとり農業協同組合 販売部 園芸課
香取市小見1098番地の1 電話:0478-70-7714
全国農業協同組合連合会
千葉県本部園芸部園芸直販課
千葉県中央区新千葉3-2-6 電話:043-245-7385
ホームページ: <https://www.zennoh.or.jp/cb/>